

# 道の駅「朝霧高原」における防災機能強化の 取組の進捗の報告

---

令和4年9月16日

国土交通省 静岡国道事務所

浅井 聡

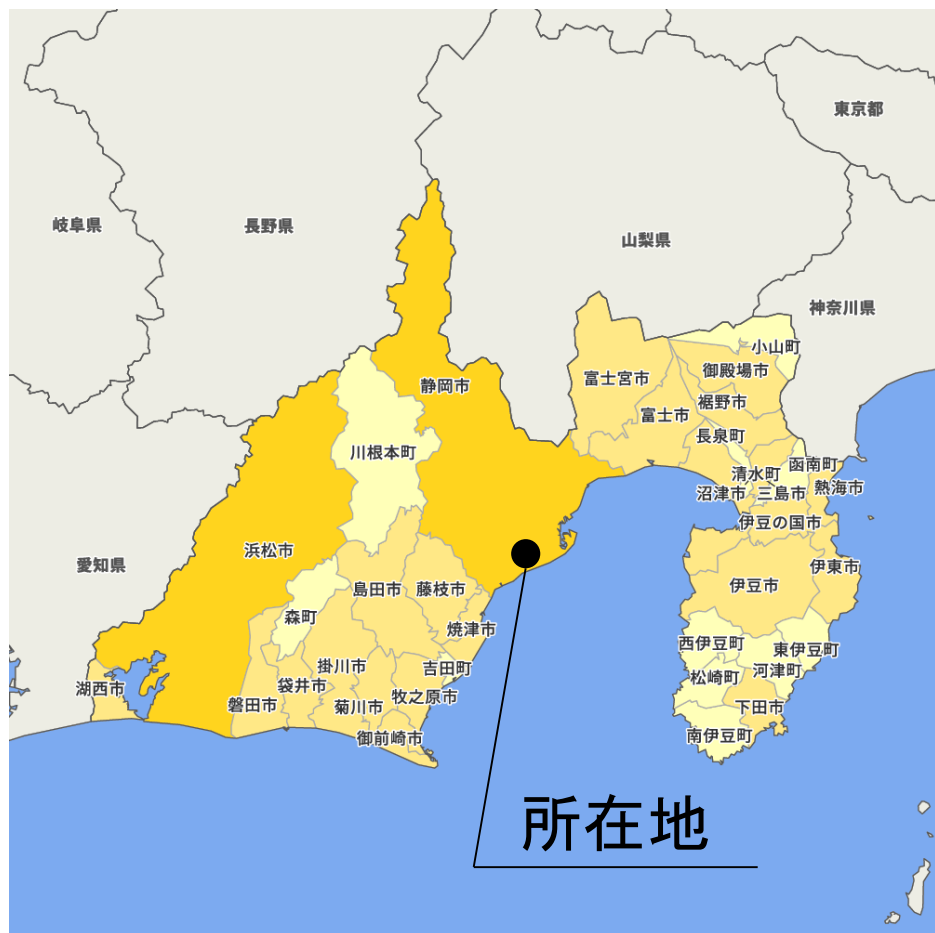
# 1. 目次

1. 静岡国道事務所の紹介
2. 道の駅の概要
3. 防災機能強化の取組の進捗の報告

# 1. 静岡国道事務所の紹介

国土交通省 中部地方整備局 静岡国道事務所

所在地: 静岡市葵区南安倍2丁目8-1



# 1. 静岡国道事務所の紹介

## 静岡国道事務所の管理・事業路線



## 2. 道の駅の概要

### 「道の駅」の目的

- ・道路利用者への安全で快適な道路交通環境の提供
- ・地域の振興や安全の確保に寄与

### 「道の駅」の機能

#### 休憩機能

- ・24時間、無料で利用できる駐車場・トイレ

#### 情報発信機能

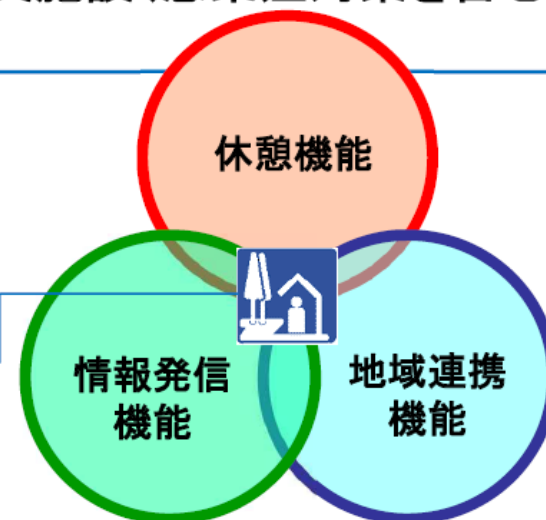
- ・道路情報、地域の観光情報、緊急医療情報などを提供

#### 地域連携機能

- ・文化教養施設、観光レクリエーション施設などの地域振興施設や防災施設（感染症対策を含む）

### 「道の駅」の基本コンセプト

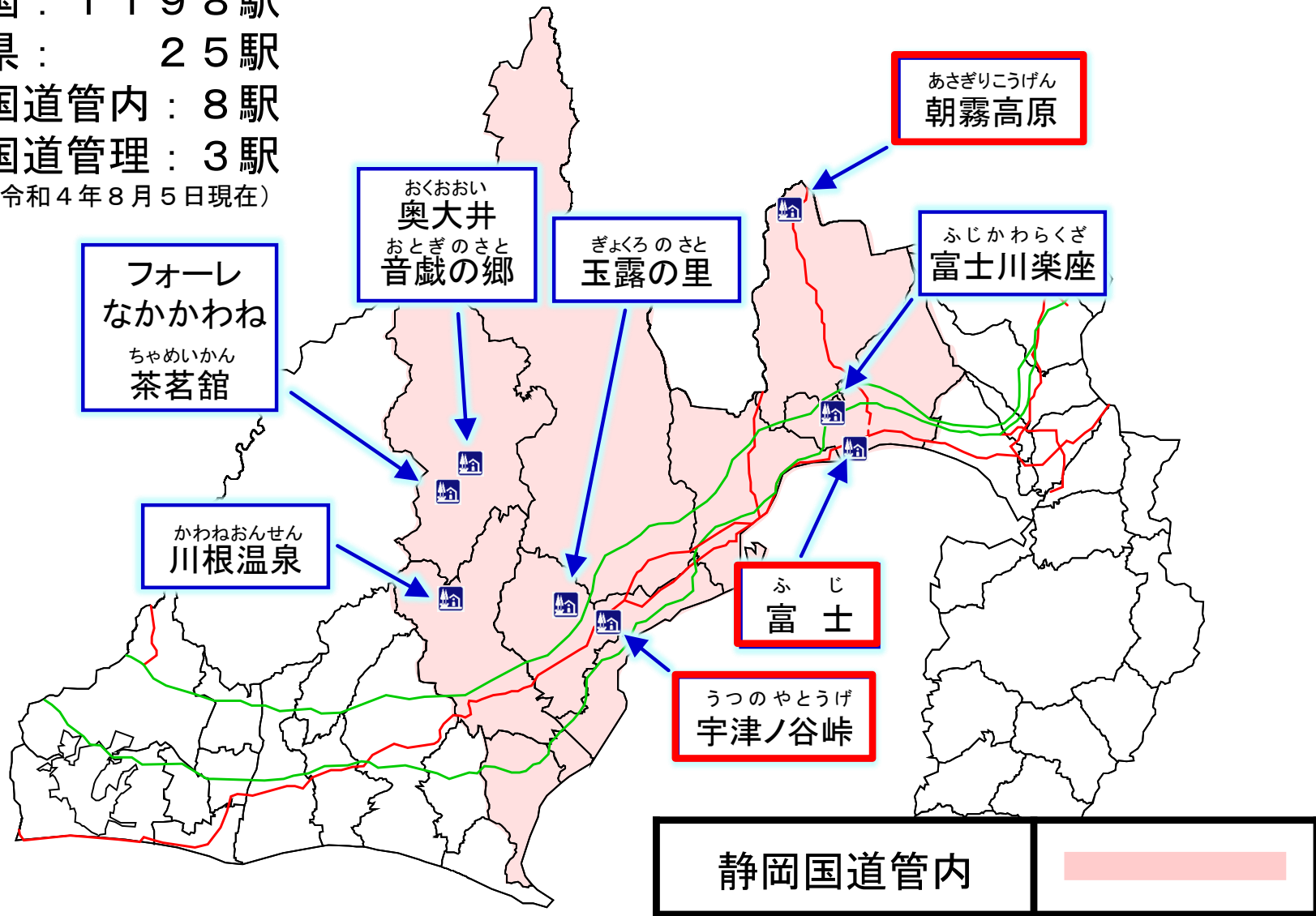
地域とともに作る  
個性豊かな  
にぎわいの場



災害時は、防災機能を発現

# 2. 道の駅の概要

全 国：1198 駅  
 静岡県：25 駅  
 静岡国道管内：8 駅  
 静岡国道管理：3 駅  
 (令和4年8月5日現在)



# 2. 道の駅の概要

## 「道の駅」朝霧高原

- 設置者：富士宮市
- 所在地：静岡県富士宮市根原
- 路線名：一般国道139号
- 道路管理者：静岡国道事務所
- 管理・運営者：株式会社 富士山
- 供用：平成12年3月
- 全体面積：約36,000m<sup>2</sup>

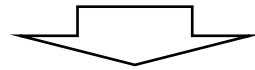


## 2. 道の駅の概要

### 「道の駅」朝霧高原の利用者

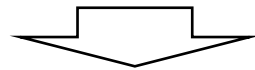
平日：1,131台（小型：1,026台、大型：105台）

休日：1,400台（小型：1,370台、大型：30台）



### 国道139号の交通量（道の駅「朝霧高原」付近）

平日：約6,429台



**5台に1台が利用**

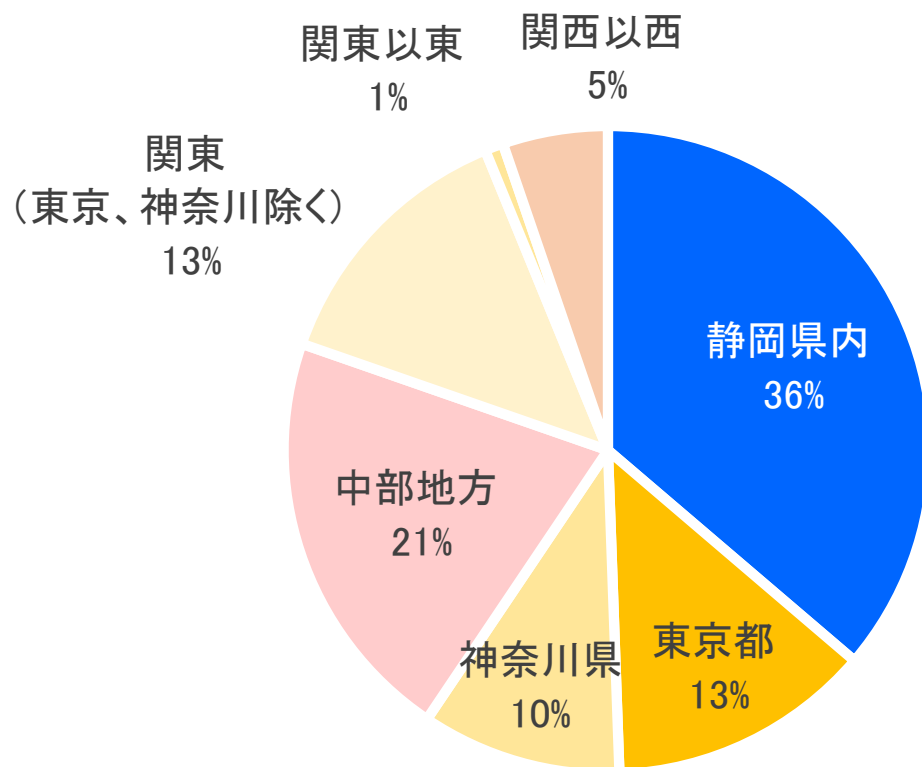


# 2. 道の駅の概要

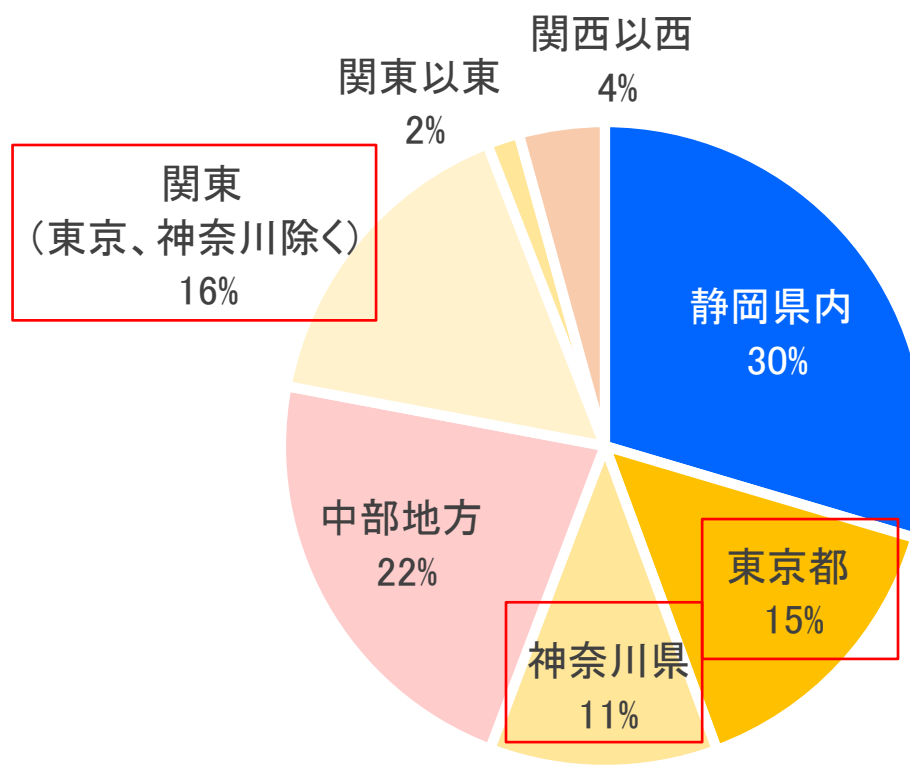
## 「道の駅」朝霧高原の利用者

<平日>

<休日>



関東地方 36%



関東地方 42%

出典: 立寄交通量; 交通量調査結果(時間平均交通量)(平日R3.10.4~10.8、休日R3.10.16~10.17)  
 車籍地; AIカメラデータ(平均車籍地割合)(平日R3.12.20~12.24、休日R3.12.25~12.26)

## 2. 道の駅の概要

### 道の駅「朝霧高原」の最近の取り組み

【子育て支援】



**24時間利用可能なベビーコーナー、おむつの自動販売機、妊婦向け屋根付き駐車スペースを設置し、子育て世代を応援。**

# 2. 道の駅の概要

## 「道の駅」の最近の取り組み

### 「2025年」を目指す3つの姿

#### 1. 道の駅を世界ブランドへ (ニューノーマル対応)



<これまでの主な取り組み>

- **キャッシュレス導入**
- **道の駅同士が連携したEC/通販**
- **施設の衛生環境の改善**

#### 2. 新「防災道の駅」が 全国の安心拠点に



<これまでの主な取り組み>

- **「防災道の駅」制度の創設と重点支援**
- 地域防災力の強化のための **BCP策定** や防災訓練等の実施
- **「防災拠点自動車駐車場」**の指定

#### 3. あらゆる世代が活躍する 舞台となる地域センターに



<これまでの主な取り組み>

- **子育て応援施設**の併設
- **道の駅ニーズと民間シーズのマッチング**による地域の課題解決
- **大学等との連携**によるインターンシップや実習

### 3つの姿を実現する安定基盤の構築

国等からの支援の充実

全国連絡会のエージェント機能の強化

# 2. 道の駅の概要

## 道の駅の最近の取り組み

### 【防災】

重点的な  
支援 (最大5年)

ハード面

- ・防災機能の整備・強化を交付金で重点支援

ソフト面

- ・BCPの策定や防災訓練について国のノウハウを活用した支援

**広域的な防災拠点機能を持つ道の駅**

「防災道の駅」のターゲット

約100駅

**地域の防災拠点機能を持つ道の駅**

約500駅

その他の道の駅

### 主な役割

#### 大規模災害時等の広域的な防災拠点



- ・自衛隊、警察、テックフォース等の救援活動の拠点
- ・緊急物資等の基地機能
- ・復旧、復興活動の拠点等

#### 地域の一時避難所



### 3. 防災機能強化の取組の進捗の報告

#### 「防災道の駅」としての指定要件

1. 都道府県が策定する広域的な防災計画及び新広域道路交通計画に広域的な防災拠点として位置づけられていること



- 南海トラフ地震における静岡県広域受援計画
- 静岡県新広域道路交通計画

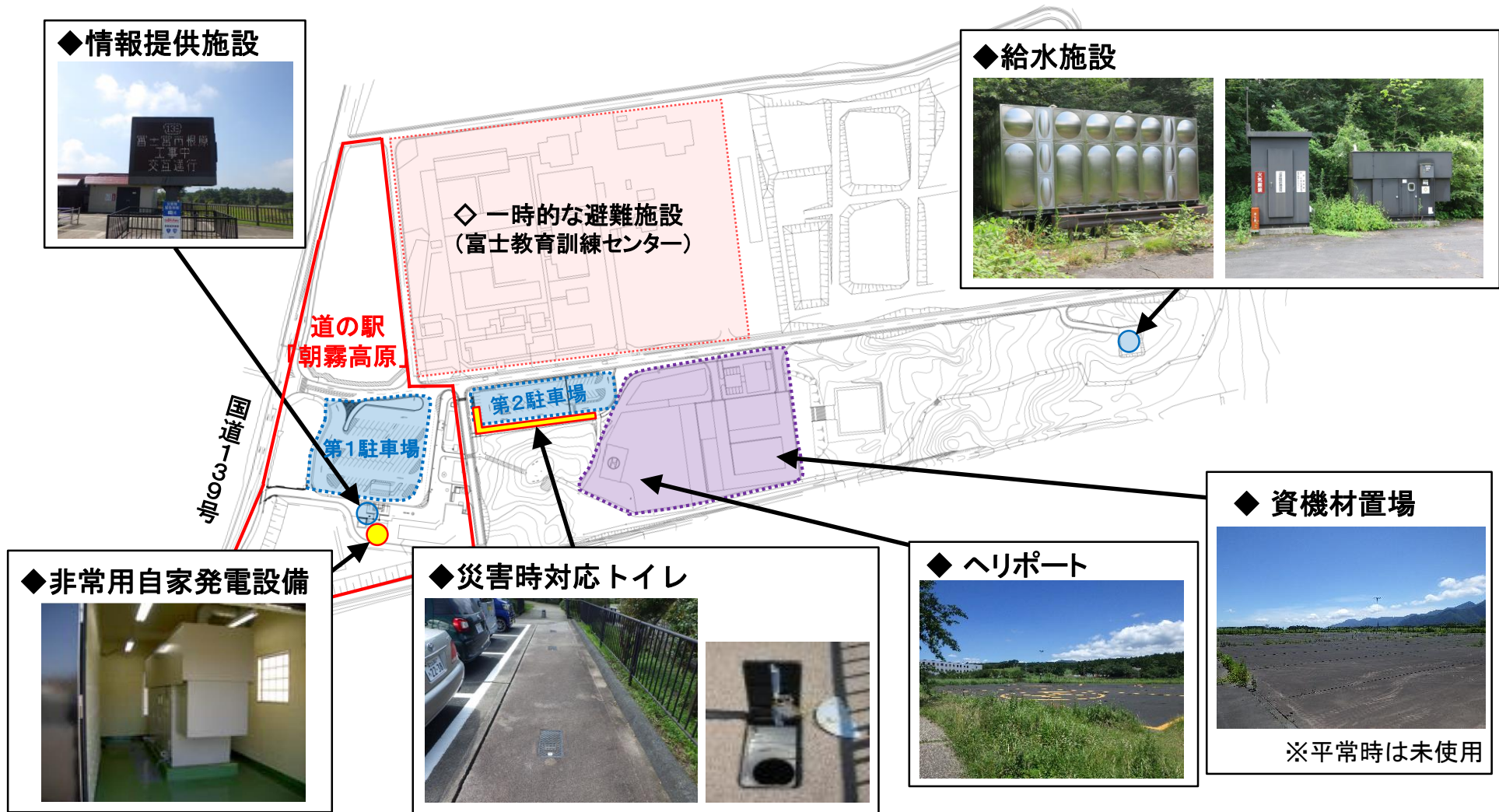
### 3. 防災機能強化の取組の進捗の報告

#### 「防災道の駅」として指定要件

2. 災害時に求められる機能に応じて、体制が整っていること
  - ①建物の耐震化、無停電化、通信や水の確保等により、災害時においても業務実施可能な施設となっていること
  - ②災害時の支援活動に必要なスペースとして、2,500m<sup>2</sup>以上の駐車場を備えていること
  - ③道の駅の設置者である市町村と道路管理者の役割分担等が定まったBCPが策定されていること

# 3. 防災機能強化の取組の進捗の報告

## 現状の防災機能

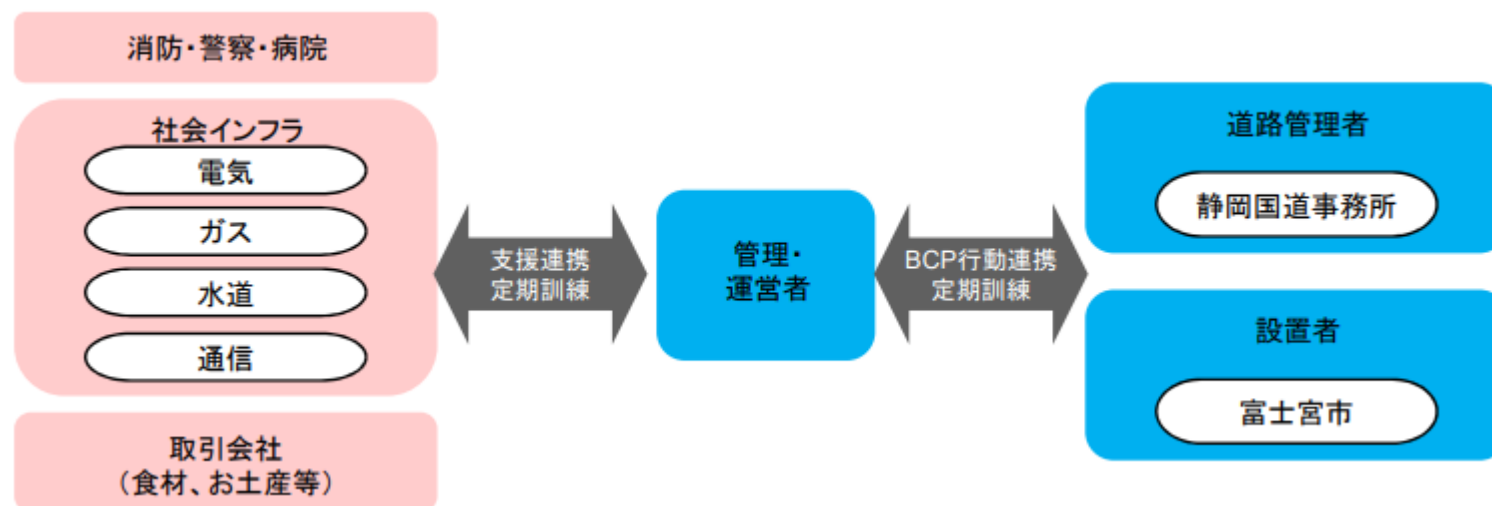


# 3. 防災機能強化の取組の進捗の報告

## ○ BCP(業務継続計画)

災害時に被災し、人、物、情報等利用できる資源に制約がある状況下において、**優先的に実施すべき業務**(非常時優先業務)を特定するとともに、**業務の執行体制や対応手順、継続に必要な資源の確保**等をあらかじめ定める計画である。

### 道の駅「朝霧高原」BCP (令和2年3月作成)





### 3. 防災機能強化の取組の進捗の報告

令和3年6月  
「防災道の駅」  
全国で39駅選定



道の駅「朝霧高原」  
「防災道の駅」に選定

国土交通省   
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

令和3年6月11日  
道路局企画課



「防災道の駅」として39駅を初めて選定しました！

～広域的な防災拠点として役割を果たすための重点的な支援を実施します～

国土交通省では、「道の駅」第3ステージの取組の一環として、都道府県の地域防災計画等で、広域的な防災拠点に位置づけられている「道の駅」について「防災道の駅」として選定し、防災拠点としての役割を果たすための、ハード・ソフト両面からの重点的な支援を行うこととしています。

この度、都道府県からの提案を踏まえ、重点支援対象となる「防災道の駅」として39駅を初めて選定したのでお知らせします。

(添付資料)

- ・「防災道の駅」について [別紙1](#)
- ・「防災道の駅」の選定箇所 [別紙2](#)

### 3. 防災機能強化の取組の進捗の報告

## 道の駅「朝霧高原」機能強化方策検討会

静岡国道事務所

管理・運営者  
(株)富士山



静岡県

静岡県警察

富士宮市

# 3. 防災機能強化の取組の進捗の報告

## 【広域的な防災拠点としての主な役割】

- ・現地ヘリポート ・警察庁の進出拠点
- ・広域物資輸送拠点

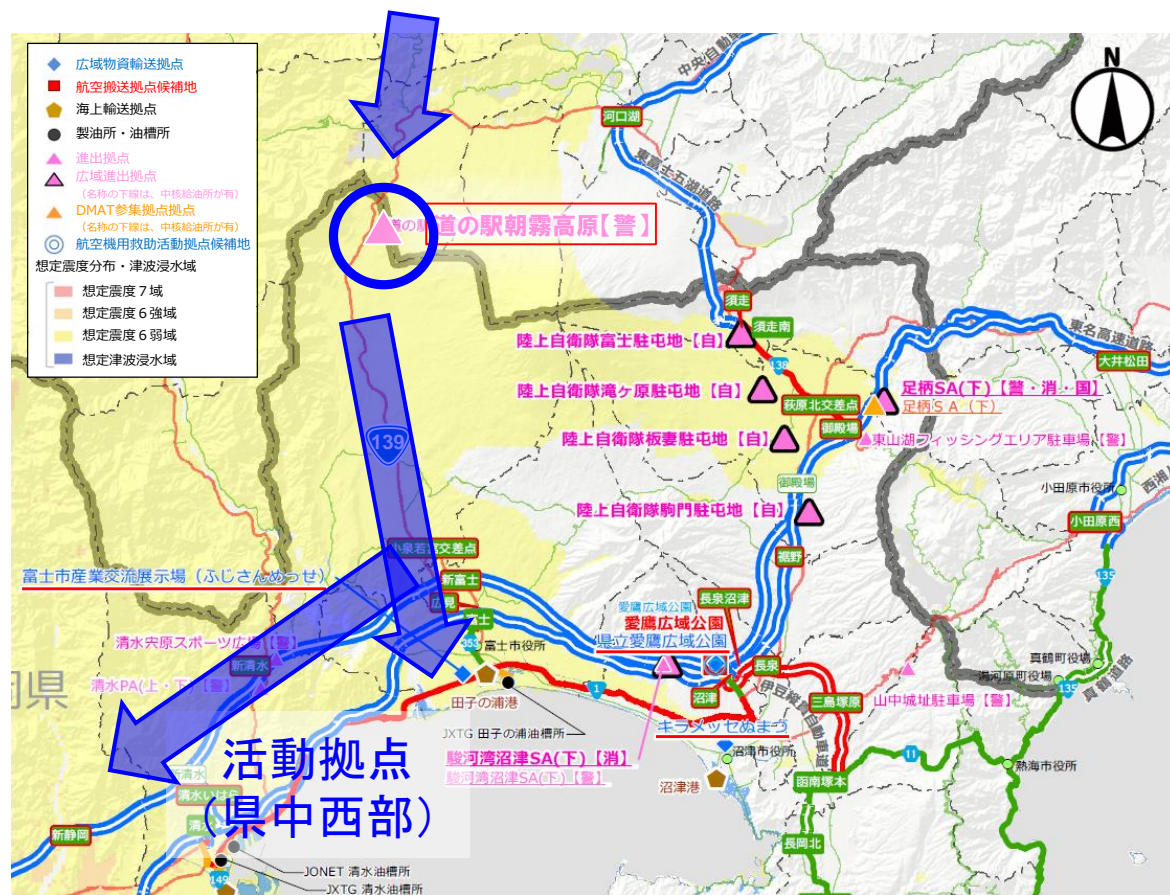
## 【地理的範囲及び分担】

- ・富士宮市国道139号沿線唯一の広域防災拠点
- ⇒山梨方面から県中西部の活動拠点

(凡例)◎広域進出拠点 ○進出拠点

施設名称	所在地	アクセス	警察庁	消防庁	防衛省	国土省
山中城跡駐車場	三島市	国道1号	○			
駿河湾沼津SA(下り線)	沼津市	新東名	○	◎		
足柄SA(下り線)	小山町	東名	◎	◎		◎
東山湖フィッシングエリア駐車場	御殿場市	国道138号	○			
陸上自衛隊駒門駐屯地	御殿場市	国道246号				◎
陸上自衛隊板妻駐屯地	御殿場市	県道155号				◎
陸上自衛隊滝ヶ原駐屯地	御殿場市	県道23号				◎
陸上自衛隊富士駐屯地	小山町	国道138号				◎
道の駅朝霧高原道の駅	富士宮市	国道139号	○			
清水穴原スポーツ広場	静岡市	国道52号	○			
清水PA(上り線)	静岡市	新東名 国道52号	○			
清水PA(下り線)	静岡市	新東名 国道52号	○			
浜松SA(上り線)	浜松市	新東名	○	○		
浜松SA(下り線)	浜松市	新東名	○			
東名高速浜名湖SA(上り線)	浜松市	東名	○			
東名高速浜名湖SA(下り線)	浜松市	東名	○	○		
湖西運動公園	湖西市	国道310号	○			

## 山梨方面



※令和2年10月 中部地方幹線道路協議会(静岡県地区会議)資料

# 3. 防災機能強化の取組の進捗の報告

○「道の駅」は、災害時において地域の避難所や広域的な活動拠点として、防災機能強化を進め、災害への対応力を向上させる

## ■ 現状と課題

- 南海トラフ地震における静岡県広域受援計画で進出拠点として位置付け
- 富士宮市地域防災計画で防災拠点施設として位置付け
- 国道139号の静岡県と山梨県の県境に位置
- 災害時には、円滑な情報収集・共有体制・情報発信の確保のため、「道の駅」の継続的な運営を実施できる体制づくりの他、立地性を活かし、広域的な復旧・復興活動拠点として 機能強化を図ることが必要

## ■ 強化策

<施設>

- 防災倉庫を整備

<体制>

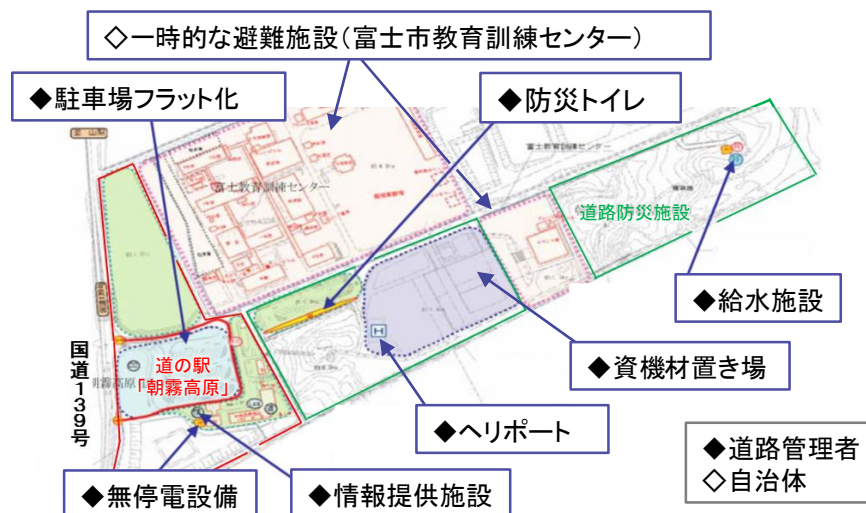
- R2年度中に感染症対策をBCPへ反映

発揮する機能			
救援物資の中継・分配機能	広域支援部隊の一次集結・ベースキャンプ機能	災害医療支援機能	物資等の備蓄機能
○	○		

<施設近景>



<施設配置>



# 3. 防災機能強化の取組の進捗の報告

## 道の駅「朝霧高原」の防災機能の強化方策



# 3. 防災機能強化の取組の進捗の報告

## 道の駅「朝霧高原」の防災機能の強化方策



# 3. 防災機能強化の取組の進捗の報告

## 道の駅「朝霧高原」の防災機能の強化方策



# 3. 防災機能強化の取組の進捗の報告

## 道の駅「朝霧高原」の防災機能の強化方策

至 山梨県

**④ 給水施設・非常用自家発電施設の72時間対応**



至 富士市



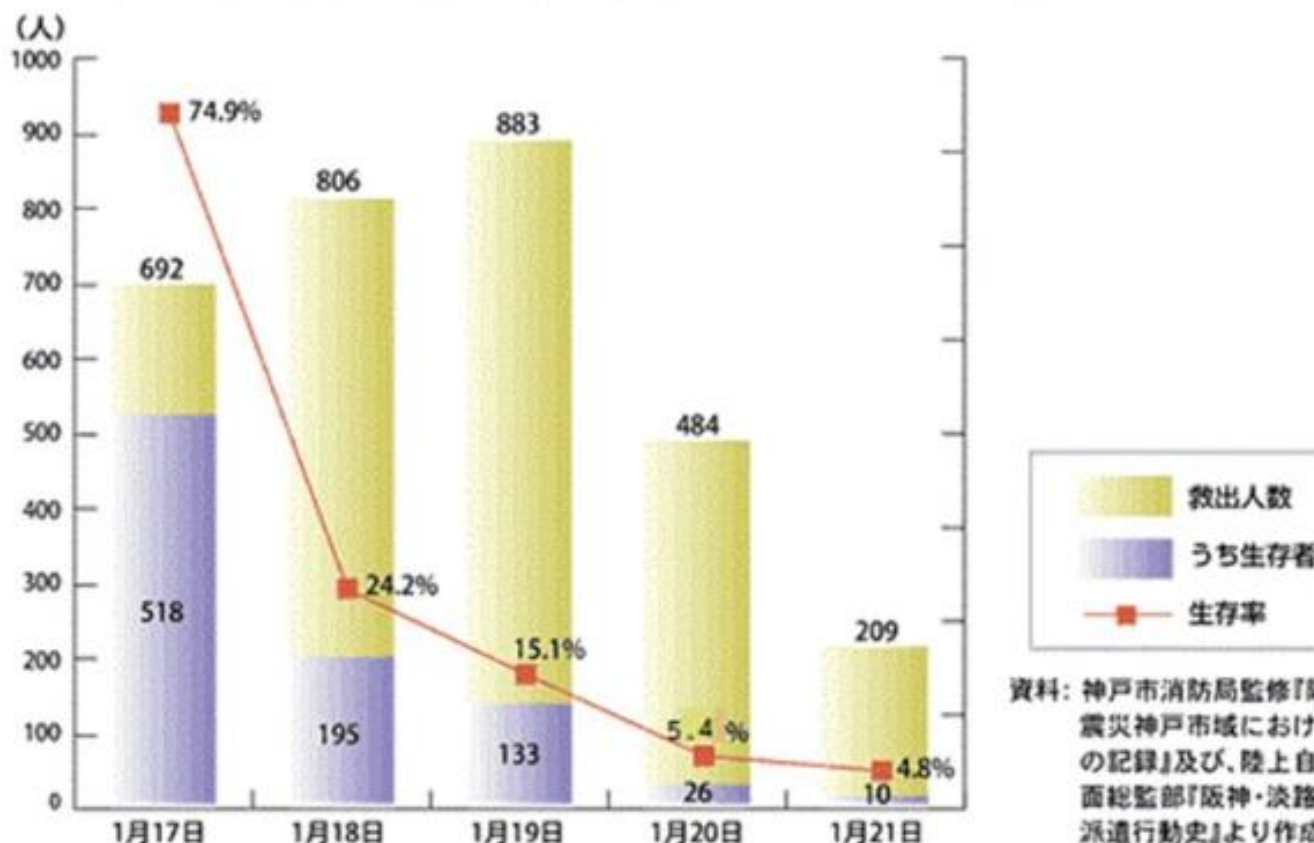


# 3. 防災機能強化の取組の進捗の報告

## 必要とされる防災機能



救出者中の生存者の割合の推移(1月17日~21日の5日間)



資料: 神戸市消防局監修『阪神・淡路大震災神戸市域における消防活動の記録』及び、陸上自衛隊中部方面總監部『阪神・淡路大震災災害派遣行動史』より作成

国土交通省近畿地方整備局の資料より

**発電・給水機能は、72時間に未対応**

### 3. 防災機能強化の取組の進捗

## 道の駅「朝霧高原」の防災機能の強化方策



ご清聴ありがとうございました。

